

北海道地学協働アワード 2023

「あいcircle」の取組についてエン
トリーしました。

予選審査を通過し、本審査で6分
間のプレゼンテーションをしました。

普通科1年生

オンラインでの発表の様子



とても緊張しましたが、目線、声の強弱・スピードなど練習の成果を発揮しました。

特別賞

「地学連携活動賞」受賞！！



発表の様子はYou Tubeで
観ることができます！



[地学協働アワード2023発表の様子 \(You Tube\)](#)

あいcircleに出展・参加・協力いただいた皆様、ありがとうございました。

2024年度のあいcircleも、たくさんの方々の参加、応援をお待ちしています。





エントリー & 発表の資料

スクールミッション

共生社会
の実現

学校教育目標 : Go for your dream 夢のためにベストを尽くす

目指す生徒像 : 共生社会の担い手となるために

- ・ 社会の一員であることを意識し、責任を自覚し行動できる生徒
- ・ 互いの多様な考えや感情を尊重し、認め合い、協働する生徒
- ・ 他者の思いに感謝し、社会に貢献する喜びを感じ、助け合う生徒

「社会に開かれた教育課程の実現」

「地域と共に歩む教育活動の具体化」

・ 学校に協力してもらうのではなく、**参加者それぞれが主役になって自己実現できる場**にし、そこに本校生徒も目的を持って参加する。

・ 障がいがあるなしではなく、学生からお年寄りまで、**様々な人が必要とされながら関わり合える場**を作る。→ **「令和5年度あいcircle」の実施**

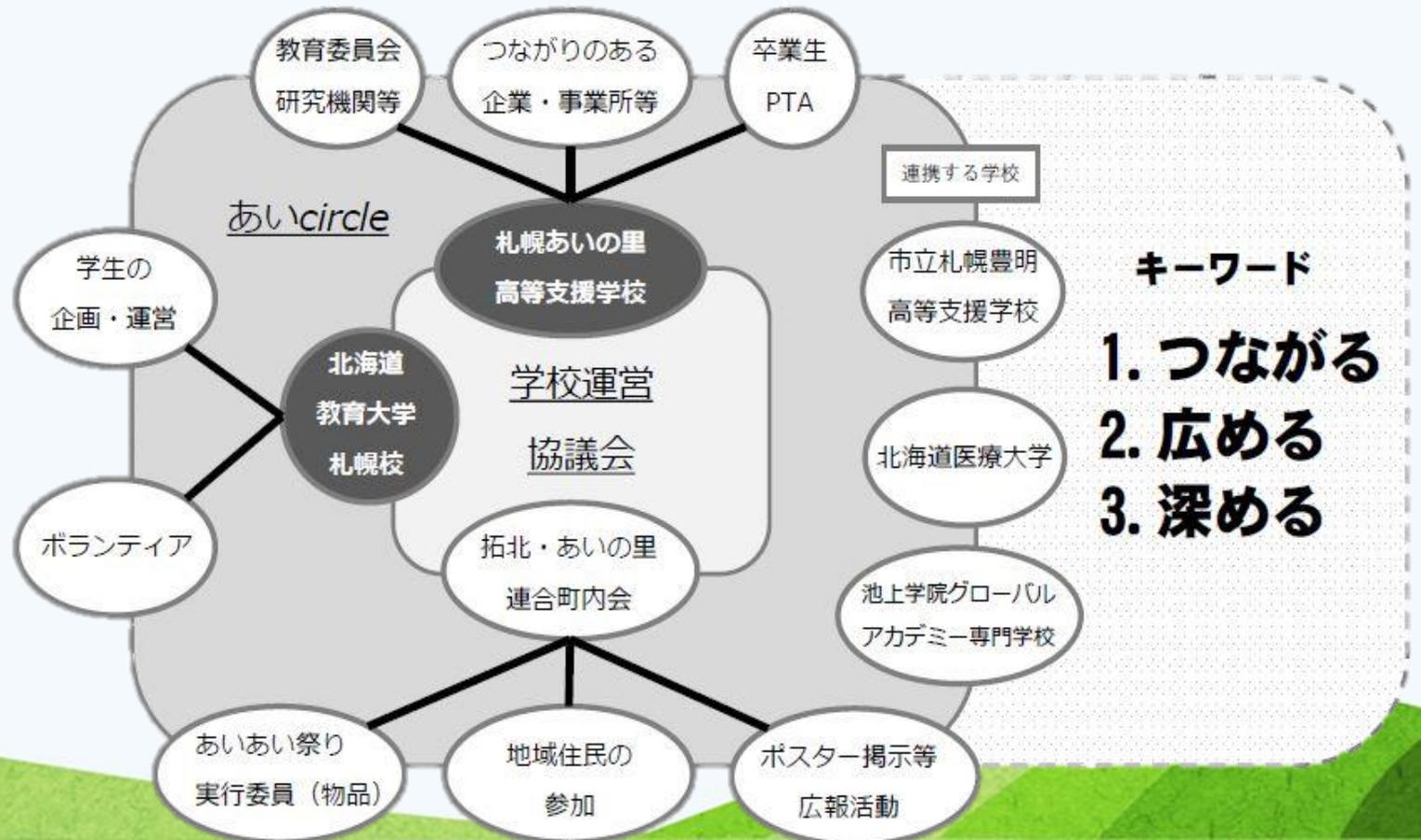
学校と地域の協働体制

「地域と共に歩む教育活動」の実現に向けて、コミュニティスクールの仕組みを活用し、地域と学校のWin-Winの関係を構築する方策を検討

地学協働アドバイザーに来校いただき、熟議をする中で、地域と学校がそれぞれ自分事として検討を重ねた。

(1)地域の町内会や商工振興会、学校関係、福祉関係、企業等が効果的に連携する方策を考える

(2)共生社会の実現に向けた取組として、本校生徒だけでなく、地域の関係者全ての人のための活動となるよう検討する



地域課題を解決するための多様な活動

本校の学校運営協議会を中心に、**札幌市北部地域の学校や企業、事業所等、18の団体が参加し、令和5年度「あいcircle」を実施**



学校間の連携

- ・本校生徒と、**北海道教育大学札幌校**の学生が共同企画として運営
- ・**市立札幌豊明高等支援学校**の生徒の参加と、製品販売
- ・**北海道医療大学**の学生が学生企画として、体験コーナーを設置
- ・**池上学院グローバルアカデミー専門学校**の学校紹介ブース設置

地域住民の参加

コロナ前に実施していたときは、平均80人の来場者だったが、

第1回あいcircle（7月実施）は

750人！！

第2回あいcircle（11月実施）は

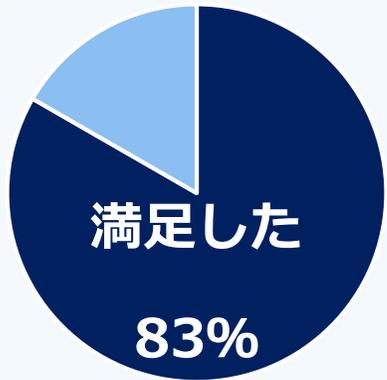
400人！！

地域の協力

- ・拓北・あいの里連合町内会の協力で、町内会の回覧板を活用した広報活動の実施
- ・地域の店舗等の協力でポスター掲示等の広報活動
- ・取組に協賛いただける企業等のブース出展
- ・地域のサークル等の団体の参加

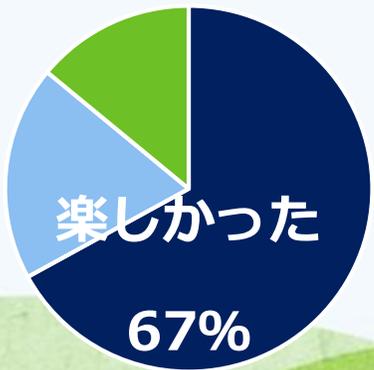
地域や生徒の変容

生徒アンケート



- ・ あんなに人が来ると思っていなかったのでびっくりしました。
- ・ お客様があたたかく迎えてくれたので安心して取り組みました。
- ・ お客様との会話で緊張がほぐれて、接客の楽しさを知りました。
- ・ 地域の温かさを感じた楽しい一日でした。
- ・ お祭りのようで、夏や青春を感じました。

来場者アンケート



- ・ 人と人との繋がり素晴らしさを感じました
- ・ どれも魅力的でした
- ・ すごく盛り上がり大盛況な日だったと思います
- ・ 生徒たちもがんばっていたと思います